

独立行政法人 日本芸術文化振興会

第17回 契約監視委員会 議事要旨

開催年月日	平成29年6月13日(火)
委員名簿 (敬称略)	伊田 若江(弁護士) 枝川 明敬(東京藝術大学教授) 笹川 隆司(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長 徳丸 吉彦(聖徳大学教授) 藤川裕紀子(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長代理
議事次第	1.連続一者応札・応募等事案フォローアップ(平成28年度分)について 2.平成28年度契約に関する点検・見直しについて 3.調達等合理化計画の自己評価の実施及び策定について 4.その他
審議点検対象	・平成28年度契約(契約額100万円以上)全件 ・平成28年事業年度自己点検評価報告書第14期の調達等合理化計画に係る内容
総括	(1)審議方法概要と結果 ・平成28年度契約に関する点検・見直しについては、契約方式、落札率、一者応札の状況などに着目して6件の審議対象を選定し、案件ごとに関係書類を基に所管課等による説明を受け、点検審議を行った。 一般競争・企画競争では、一括調達に合理性を有しているか、予定価格の算出方法が妥当であるかなどについて審議を行った。 随意契約では、随意契約の根拠となる具体的な理由が妥当であるか、契約に至るまでの経緯が適切であるかなどについて審議を行った。 いずれの案件についても契約の妥当性を確認したが、所管課による手続きの着手時期を早める取組、企画提案及び見積書の内容の的確な検証、将来的な業務そのものの見直しなどにより、一層の調達の改善が図られるよう期待する。 ・平成28年事業年度自己点検評価報告書第14期(抄)の調達等合理化計画に係る内容については、点検の結果、了承する。また、平成29年度調達等合理化計画(案)については、点検の結果、了承する。 なお、前年度から着実に計画が前進していることが分かるように実施されることを期待する。